

2022年 年頭所感



代表取締役社長 大江 伸治

2022年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今期（2022年2月期）は、2年タームの「再生プラン」の最終年度であり、前年以來実行してきた事業構造改革の成果を踏まえ、確実に黒字化を実現することを基本方針に掲げスタートしました。今期計画は、新型コロナウイルス禍の影響が6月までは残るであろうとの前提で、尚且つ最終黒字を確保するというのが当初の建付けでありましたが、9月末まで緊急事態宣言が延長され、繰り返し計画修正を迫られる事態となりました。

上半期決算においては、期間を通してコロナ禍の影響が続いた結果、売上高は大幅に減少した一方で、粗利率改善と販管費削減が計画以上に進展したことで、営業利益をはじめ収益面では計画を若干上回ることができました。また、在庫削減、財務改善といった再生プランに掲げたその他の重点施策についても、所期の計画を達成することができました。厳しい状況によく耐えて何とか凌いだというのが率直な所感です。

下半期は、10月以降緊急事態宣言も解除され、市場正常化の進展に伴い、売上もほぼ計画通りの水準まで回復し、最終黒字での着地が見込める展望も開けてきております。実行してきたことが、ポジティブな形で表れてきたと感じております。引き続き総力を挙げて計画達成に向けて取り組み、所期の目標である黒字化を達成し、再生プランの完遂を期したい所存です。

再生プラン終了後の来期（2023年2月期）からは、“守勢から攻勢に転じる”、“2年間の再生プランを通じて築き上げてきた基盤をベースに会社を成長軌道に乗せていく”、という新たなフェーズに移行することになります。現在、来期を初年度とする新中期経営計画の策定作業を進めており、新年度からは、この中期経営計画の達成に向けた新たなチャレンジが始まります。

引き続き陣頭に立って指揮官としての役割を果たし、全社一丸となって目標達成に邁進して参りますので、本年も皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。